

WAKUWAKU 通信

2024
Vol.14



2024年2月24日「第18回社会貢献活動見本市～地域活動が次世代に何を残せるか～」にて
発表した「にしまるーむ」のパネルです



認定NPO法人

豊島子ども **WAKUWAKU** ネットワーク

発行日:2024年4月 発行者:認定特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

〒170-0011 豊島区池袋本町一丁目28番1号サンスプレnderキタイケ 102号

WEB:<http://toshimawakuwaku.com/> TEL :050-5526-1229 Mail :info@toshimawakuwaku.com

第18回社会貢献活動見本市にて 「東京海上日動火災保険 池袋支店賞」を受賞

2月24日に開催された第18回社会貢献活動見本市で、WAKUWAKUは、にしまる一むの発表を行い、「東京海上日動火災保険 池袋支店賞」を受賞しました。

「にしまる一む」とは

にしまる一むは、昨年5月に誕生した、公立中学校の中にある「何をしてもいい、何しなくてもいい」居場所です。

実施校である豊島区立西池袋中学校に通う生徒なら誰でも利用することができます。

また、時間帯を分けた2部制で開室をしており、学校に行きづらい、教室に入りづらいという生徒も安心して利用できるように配慮しています。

にしまる一むにやってくる生徒は様々です。にしまる一むがあるから登校できるという生徒、放課後に友達とボードゲームをしにくる生徒、のんびりとお絵描きを楽しむ生徒、学校や塾の宿題を持ってきて取り組む生徒など…。中には辛いことや悲しいことがあった時にスタッフに相談をしに来る生徒もいます。

普段はなかなか関わることのない生徒同士がつながったり、「あの子、こんなこと得意なんだ!」と学校生活ではあまり見ることのできない生徒の良さに気づくことができるのもまた、にしまる一むです。

WAKUWAKUでは様々な形での居場所づくりを行っていますが、実際にその居場所につながるができる子どもたちはほんの一握り、氷山の一角です。学校という普遍的で、より子どもたちの身近な場所ににしまる一むのような居場所があることは価値があることなのではないかと思います。このような居場所が豊島区、いや日本中に広がっていき、多感な時期を過ごす子どもたちの支えの一つになれるといいなあと思いながら活動しています。(スタッフ 本間)



左からスタッフの馬橋、栗林理事長

社会

【学校】不登校だったけど… 生徒に希望を与える“新しい居場所” 公立中学校とNPOの取り組み『every.特集』

0テレ

2024年3月30日 12:22



2024年3月27日の『news every.』(日本テレビ)の放送で「にしまる一む」のことが紹介されました。

「every. 特集 不登校」などでご検索いただくか下記QRコードを読み込んでいただければ視聴可能です。この機会にぜひご覧ください!!



「WAKUWAKUホーム」報告会&「プリズン・サークル」上映会

2024年2月11日(日)に、「WAKUWAKUホーム」報告会&「プリズン・サークル」上映会を、IKE・Bizとしま産業振興プラザの多目的ホールにて開催いたしました。「プリズン・サークル」の上映会を探しておられた方たちがいらっしゃったこともあり、約130名の方が参加してくださいました。

以下はアンケートより抜粋です。



○孤独が生き辛さにつながるため、親も子も1人にしないために、実家のような存在としてWAKUWAKUホームがあるというお話が心に残りました。

○プリズン・サークルでは、他の人と対話を重ねることで罪悪感が生まれたり、今まで自分の中にためていた感情が出てくる受刑者たちの様子をリアルにみることができました。

○いろいろな場面の問題(貧困、虐待、犯罪、いじめ、DV)がすべて地続きであることを改めて学ぶことができました。目の前にしている問題を表面だけでなく多面的にとらえるために、大変有意義に視聴させていただきました。

○これまでに担当した被疑者・被告人や虐待を受けた子どもやいろいろな人の顔が浮かびました。ひとりぼっちにしないこと、大切だと改めて感じました。

○暴力の連鎖をとめるという言葉が深くささりました。



○子どもの居場所や地域で子どもを真ん中に置く大切さを認識できた。加害者もケアされるべき存在であると考えさせられた。

○ホームの職員のお2人のお話、心にしみました。

○きちんと自分と向き合う前に、きちんと向き合ってもらえる場が与えられること。とても大事だと思いました。子どもたち、一人一人ときちんと向き合える大人の一人になりたいと思いました。

「プリズン・サークル」劇場公開日：2020年1月25日 配給：東風 監督：坂上香

官民協働による新しい刑務所であり、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC(Therapeutic Community=回復共同体)」というプログラムを導入している日本で唯一の刑務所でもある「鳥根あさひ社会復帰促進センター」。取材許可に6年をかけ、2年にわたり日本国内の刑務所に初めてカメラを入れて完成となったドキュメンタリー。

WAKUWAKU の就労体験プログラムにご協力してくださった
TIS 株式会社様が、企業ボランティアアワード大賞受賞

2022 年度に WAKUWAKU で実施した「シングルマザーのための就労体験プロジェクト」では、TIS 株式会社 社員ボランティアの皆様にご協力いただき、プログラムを終了いたしました。
『第 9 回 企業ボランティア・アワード』（主催：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター）にその取り組みを応募したところ、活動が評価されて大賞を受賞しました。

2024 年 2 月 21 日に開催された表彰式にて
両端 WAKUWAKU スタッフ、中央 2 名 TIS (株) 藤田様、寛野様

企業ボランティアの祭典 2024



2024 年 1 月 27 日
株式会社ローヤルエンジニアリング様の懇親会にご招待いただきました

サンシャインシティ水族館にて行われた(株)ローヤルエンジニアリング様の懇親会に WAKUWAKU につながる親子 50 名をご招待いただきました。夜の水族館で食事をしながら魚たちをみることが出来るという非日常な空間に参加した子ども達は大興奮でした。

2024 年 3 月 23 日
「おせっかいさん大集合!～さらに WAKUWAKU するために～」開催

WAKUWAKU のさまざまな事業でボランティアをしてくださっている皆様と、困っている子どもがいたら手を差し伸べたい、そんな「おせっかいさん」の交流会を開催しました。約 30 名の皆様にご参加いただき、子どもへのおせっかいを中心としたとした様々な意見交換が行われました。

2024 年 4 月 2 日
一般社団法人東京キワニスクラブ様が企画した
「子どもスマイルイベント in サンシャインシティ」にご招待いただきました

サンシャインシティ水族館を利用したイベントに WAKUWAKU とつながる子ども達 27 名とその保護者をご招待いただきました。水族館が初体験の子どももいてとても楽しい一日となりました。

ご支援よろしくお願いします

今回のみのご寄付から月単位での継続したものまでご利用いただくことが可能です。
カード決済又はゆうちょの口座へお振込みいただく方は、WAKUWAKU のホームページの寄付画面または、右記QRコードよりご確認ください。
必要情報を記入後、振り込みの場合は、クリック後及びメールに、振込先の口座番号等の情報が記載されています。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※下記口座に直接お振込みの場合は、必ずメールにて「お名前」「住所」「電話番号」「入金予定日」をお伝えください。ご連絡がなくお振込みいただきました場合は、寄付金控除の受領書が送付できないため、よろしくお願いいたします。

お問合せメールアドレス：support@toshimawakuwaku.com

「ゆうちょ銀行からお振込の場合」

【口座番号】00170-5-728808 【加入者名】豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

「ゆうちょ銀行以外からお振込の場合」

【店名】〇一八(読み ゼロイチハチ) 【店番】018 【預金種目】普通預金 【口座番号】5639629

毎月 1 回 WAKUWAKU の活動を紹介するメルマガを発行しております。皆さま是非ご登録下さい!!



<https://toshimawakuwaku.com/support/>

